

29. 「働くことと子育て」 を両立させるためにあるのが保育園

2010年1月1日 社会福祉法人 江刺保育園

若いご夫婦が子どもを授かったとき、仕事と子育てをどのように両立させなければならないか悩んでしまうと思います。保育の仕事をしている者から言えば当然子育てを優先して考えてほしいと思いますが、実際に若いご夫婦が自分たちの生活を維持しながら、また将来のことも考えながら、子どもを育てるということは、今の日本では非常に困難なことです。日本では、子育てはそれぞれの家族の責任によって行うことが当然であると思われている社会なので、親である皆さんが仕事も子育てもすべてをこなさなければなりません。特に核家族の方で初めて子どもを持った方は、自分たちで対処しなければならないことのあまりの多さに戸惑うことでしょう。また経済的な負担も相当なものになると思います。子ども手当が今年度から支給されることになり幾分の負担の軽減になると思いますが、日本人の多くはこの手当にあまりよいイメージを持っていないようです。これは、子育ては子どもを持つ家族の責任であるという考え方が一般的であるからです。

子育てを個人の責任という考え方から、子育ては社会の全体の責任という考え方に変えて行かなければ、日本において子育てと仕事の両立はおそらく難しいことなのだと思います。今の社会では残念ながら子育てに大きな負担感を持つことは仕方のないことです。しかし、この負担を少しでも減らすためにあるのが保育園です。社会福祉法人立の保育園の利用料は収入に応じて額が異なります。経済的弱者の場合は利用料が掛からない制度になっています。また、施設の利用を施設との直接契約ではなく、希望される方の利用する条件が適切であるかどうかを客観的に行政が判断して決定します。子どもを預かる時間は、親の就労時間をカバーしています。そして、子どもの成長を支えるためのしっかりとした保育指針が整備されています。

少子化で子どもたちの少ない社会の中で、集団生活の必要な体験や、生活の自立のための躰や教育等がしっかりと整備され対応されているのです。特に食事について栄養面、食教育の面で保育園の役割は非常に重要な働きをしています。ですから、保育園に子どもを預ける家族が増えているのです。

就労する時間をカバーしているという理由だけでなく、子どもの成長全体をしっかりと支えているということも保育園の利用数が増えている大きな理由なのです。厳しい子育て環境の中で、子どもたちの成長を支え、守っているこの保育制度はとても大切であることを強く訴えたいと思います。



《凍り豆腐のオランダ煮(4人分)》

凍り豆腐 20g、片栗粉大さじ2強、揚げ油、人参 1/3本、ピーマン 1/2コ、じゃがいも中1ケ、とり肉40g、たまねぎ 1/4コ、砂糖大さじ1、醤油小さじ2

《作り方》

- ① 凍り豆腐はサイコロ状に切り片栗粉をつけて油で揚げる。
- ② ピーマン、人参、じゃがいも、たまねぎ、とり肉は食べやすい大きさに切る
- ③ 鍋に②の材料とひたひたの水を入れて煮る。野菜類に火が通ったら砂糖、醤油で味付けをし、揚げた豆腐を入れて味をしみ込ませて出来上がり。

